

新しい教育—「能力と評価」

■ プロジェクト学習で身につく「能力」

- 「課題発見力」-----身につけ前向きになる！
感性

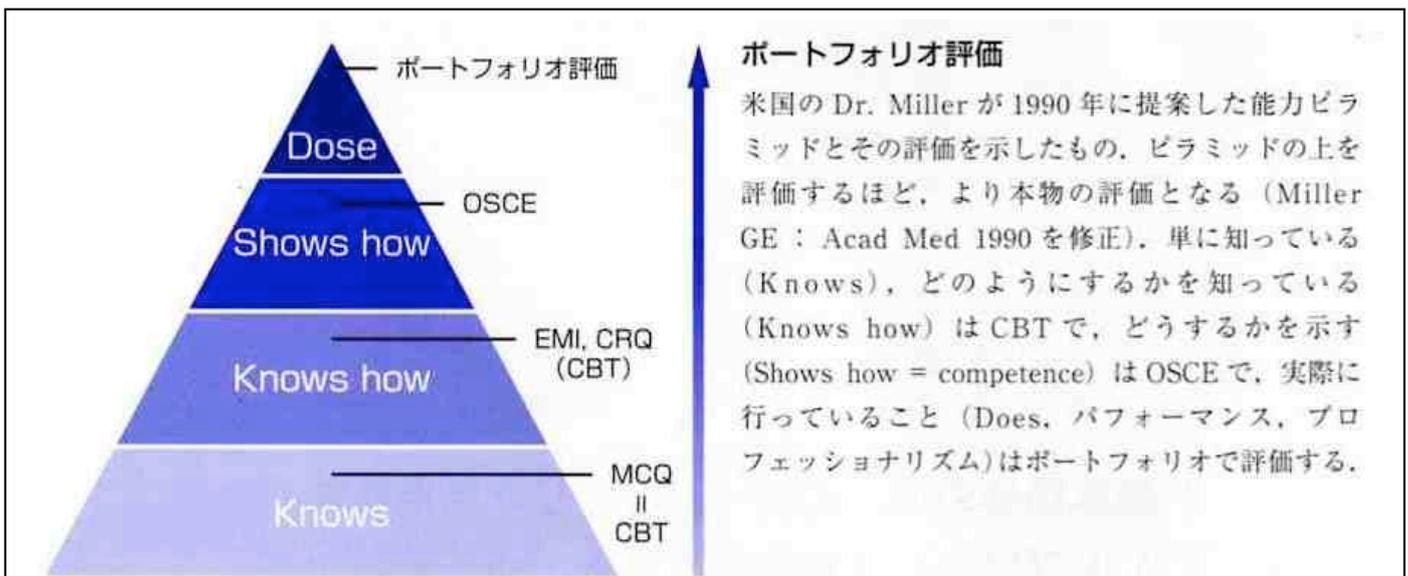
自分で現実と対座し「課題」に気づくことができる。問題に気づき解決するということは能動的な「もっとよくしたい！」という気持ちが湧きあがる。
- 「目標設定力」-----自分で目標をもちそこへチャレンジ！
行動

思うだけでなく、その実現のために自分の向かうべき「目標」を決め「チャレンジ」する力が身につく。
- 「課題解決力」-----情報を獲得し自分の頭で考え解決策を表現できる
創造

ひな形や正解のない問題を解決するためには、自分の頭で考えること、世の中を俯瞰し、必要な情報を獲得し「価値ある知」を創造できる能力が身につく。
- 「コミュニケーション力」「対人力」「交渉力」「戦略力」「尊敬」「感謝」
人間・社会

■ ポートフォリオ評価（「何をしたか」で評価する）

ポートフォリオ評価とは、プロジェクト学習などで得た(数値化できない)能力を評価できる新しい手法。



『世界の医学教育の流れはポートフォリオ評価の時代へ』

英国では 5 年間の医学部 (内, 3 年間は臨床実習) で 4 年生の終わりに EMI, OSCE, CRQ で評価し, 卒業試験ではポートフォリオ評価を外部よりの評価者とともに施行している。そのため, 医師国家試験は行っていない。米国でも医師国家試験に CBT, OSCE に引き続き, ポートフォリオ評価の導入を準備中であるという。

(医学界新聞第 2530 号 2003 年 4 月 7 日より)

抜粋/書籍名「ポートフォリオ評価とコーチング手法」医学書院

著 者 鈴木敏恵 (千葉大学特命教授) s-toshie@ca2.so-net.ne.jp